



救急車受入台数・応需率

<項目解説>

近年の診療報酬改定では、医療機関の機能分化を重視するとともに、急性期・救急医療への重点的な評価が行われています。

当院の救急医療における総合的な体制を、救急車の受入台数と応需率によって評価します。

<当院の実績>

	受入台数	応需率
【平成25年度】	4,430件	91.2% (4,430/4,856)
【平成26年度】	4,390件	91.7% (4,390/4,788)
【平成27年度】	4,333件	91.1% (4,333/4,758)
【平成28年度】	4,548件	93.1% (4,548/4,883)
【平成29年度】	4,998件	95.3% (4,998/5,246)

<当院の自己点検評価>

当院は、平成11年5月に十勝圏域の3次救急医療を担う救命救急センターの指定を受けており、圏域における中心的な役割を果たすべく、1次・2次救急患者の受入も行っています。

救急搬送件数は年間4,000件を超えており、急性心筋梗塞や脳卒中、重症消化管出血、交通外傷、急性薬物中毒などの重篤な症例はもとより、小児科や産婦人科については専門医が24時間体制で院内に常駐し対応しています。

平成25年度実績より、救急車における応需率を算出しています。当院としては、救急車の受入要請に対し可能な限り応需すべく取り組んでおりますが、救急患者が集中し救命ホールが満床である場合や、かかりつけ医による診察がふさわしいなど、不応需の場合があります。

今後も、災害拠点病院ならびに地方センター病院として、地域医療を支えるべく救急医療の充実に努めます。

<定義>

- ・算式のとおり
 - ・ホットラインを含み、救急車以外での他院からの搬送（転送）は除く
- ※日本病院会QIプロジェクトの定義に準拠

<算式>

分子：救急車受入患者数

分母：救急車受入要請件数